

2007（平成 19）年度 大学評価（相互評価）申請用
大学基礎データ

聖路加看護大学

2007年3月

目 次

	頁
I 教育研究組織	
1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2006年5月1日現在）（表1）	1
2 全学の設置学部・学科、大学院研究科等（2007年4月1日現在）（表2）	2
II 教育内容・方法等	
1 開設授業科目における専兼比率（表3）	3
2 単位互換協定に基づく単位認定の状況（表4）	4
3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況（表5）	5
4 卒業判定（表6）	6
5 大学院における学位授与状況（表7）	7
6 就職・大学院進学状況（表8）	8
7 国家試験合格率（表9）	9
8 公開講座の開設状況（表10）	10
9 国別国際交流協定締結先機関（表11）	11
10 人的国際学術研究交流（表12）	12
III 学生の受け入れ	
1 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移（表13）	13
2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数（表14）	14
3 学部の入学者の構成（表15）	15
4 学部の社会人学生・留学生・帰国生徒数（表16）	16
5 学部・学科の退学者数（表17）	17

	頁
6 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数 (表 18)	18
IV 教員組織	
1 全学の教員組織 (表 19)	19
2 専任教員個別表 (表 20)	20 …省略
3 専任教員年齢構成 (表 21)	21
4 専任教員の担当授業時間 (表 22)	22
5 専任教員の給与 (表 23)	23
V 研究活動と研究環境	
1 専任教員の教育・研究業績 (表 24)	24 …省略
2 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員) (表 25)	25
3 学術賞の受賞状況 (表 26)	26
4 特許出願・登録状況 (表 27)	27
5 産学官連携による研究活動状況 (表 28)	28
6 専任教員の研究費 (実績) (表 29)	29
7 専任教員の研究旅費 (表 30)	30
8 学内共同研究費 (表 31)	31
9 教員研究費内訳 (表 32)	32
10 科学研究費の採択状況 (表 33)	33
11 学外からの研究費の総額と一人当たりの額 (表 34)	34
12 教員研究室 (表 35)	35

VI	施設・設備等	
1	校地、校舎、講義室・演習室等の面積（表 36）	36
2	学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模（表 37）	37
3	学部の学生用実験・実習室の面積・規模（表 38）	38
4	大学院研究科の学生用実験・実習室の面積・規模（表 39）	39
5	規模別講義室・演習室使用状況一覧表（表 40）	40
VII	図書館および図書・電子媒体	
1	図書、資料の所蔵数（表 41）	41
2	過去3年間の図書の受け入れ状況（表 42）	42
3	学生閲覧室等（表 43）	43
VIII	学生生活	
1	奨学金給付・貸与状況（表 44）	44
2	生活相談室利用状況（表 45）	45
IX	財務（私立大学のみ）	
1-1	消費収支計算書関係比率（法人全体のもの）（表 46-1）	46
2	貸借対照表関係比率（表 47）	47
X	情報公開・説明責任	
3	財政公開状況について（表 48）	48

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2006年5月1日現在）

（表1）

名 称	開設年月日	所 在 地	備 考
看護学部 看護学科	昭和39年1月25日	東京都中央区明石町10番1号	
看護学研究科博士前期課程看護学専攻	昭和55年3月26日	東京都中央区明石町10番1号	
看護学研究科博士前期課程ウイメンズヘルス・助産学専攻	平成17年4月1日	東京都中央区明石町10番1号	
看護学研究科博士後期課程	昭和63年3月23日	東京都中央区明石町10番1号	
看護実践開発研究センター	平成15年4月1日	東京都中央区築地3丁目8番5号	

2 全学の設置学部・学科、大学院研究科等（2007年4月1日現在）

（表2）

大 学 名	学 部	学 科	大学院研究科	専 攻
(私)聖路加看護大学	看 護 学 部	看 護 学 科	看護学研究科（博士前期課程）	看護学専攻
			〃	ウイメンズヘルス・助産学専攻
			看護学研究科（博士後期課程）	看護学専攻

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
看護学部	看護学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	58.9	1.4	203.2
			兼任担当科目数 (B)	5.1	0.2	8.4
			専兼比率 % ($A / (A + B) \times 100$)	92.0	87.5	96.0
		教養教育	専任担当科目数 (A)	4.5	4.0	19.5
			兼任担当科目数 (B)	6.5	0.0	30.5
			専兼比率 % ($A / (A + B) \times 100$)	40.9	100.0	39.0

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

学部・学科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C) / A
			認定単位総数 (B)		認定単位総数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
看護学部	看護学科	8		22			2.8
大学院	看護学研究科	3	6				2.0
合計		11	6	22			2.5

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表5)

学部・学科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
看護学部	看護学科	33		28		111	4.2

4 卒業判定

(表6)

学部・学科		2003年度			2004年度			2005年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A×100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A×100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A×100
看護学部	看護学科	82	79	96.3	86	83	96.5	92	86	93.5
計		82	79	96.3	86	83	96.5	92	86	93.5
看護学研究科	修士課程	20	17	85.0	20	18	90.0	19	16	84.2
	博士後期課程	9	2	22.2	15	7	46.7	14	4	28.6
計		29	19	65.5	35	25	71.4	33	20	60.6

5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻		学 位	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	備 考
看護学研究科	看護学専攻	修 士	17	17	17	22	16	
		博士（課程）	5	4	2	7	4	
		博士（論文）	0	0	2	1	3	
		専門職学位						
	ウイメンズヘルス・ 助産学専攻	修 士	0	0	0	0	0	2005年4月1日
		博士（課程）						
		博士（論文）						
		専門職学位						

6 就職・大学院進学状況

(表8)

学 部	進 路		2003 年度	2004 年度	2005 年度
看護学部	就職	病院・施設	75	78	80
		民間企業	1		
		官公庁		2	4
		教員			
		上記以外			
	進学	自大学院		1	1
		他大学院	1	1	1
	そ の 他		2	1	
合 計		79	83	86	
看護学研究科	就職	病院・施設	9	10	7
		民間企業			
		官公庁	1	1	
		教員	5	12	12
		上記以外			
	進学	自大学院	4		1
		他大学院			
	そ の 他			2	
合 計		19	25	20	

7 国家試験合格率

(表9)

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) $B/A \times 100$
看護学部・看護学科	保健師国家試験	85	73	85.9
	助産師国家試験	9	9	100.0
	看護師国家試験	85	83	97.6

8 公開講座の開設状況

(表 10)

大学 研究	学部 科	年間開設講座数	1 講座当たりの 平均受講者数	備 考
	看護学部	1	200～250	<公開講座>年 1 回の開催
	看護実践開発研究センター	6	10～15	<ナーススキルアップ講座> I 講座あたり 5 回シリーズ
	〃	1	60～70	<看護認定管理者コース> コース開講期間は 5 週間

[注] 2005 年度実績

9 国別国際交流協定締結先機関

(表 11)

国名 大学・学部 研究科・研究所等	韓国	タイ	米国	カナダ			合計
聖路加看護大学	1	2	1	1			5

10 人の国際学術研究交流

(表 12)

学部・研究科等		派 遣						受 け 入 れ					
		2003 年度		2004 年度		2005 年度		2003 年度		2004 年度		2005 年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期
看護学部 看護学研究科	新規	38		45		53		49		35		62	
	継続												
看護実践開発 研究センター	新規												
	継続												
計	新規	38		45		53		49		35		62	
	継続												

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表 13)

学部	学科	入試の種類	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
		看護学	一般入試	志願者	553	600	555
合格者	80			80	80	80	83
入学者	53			52	55	55	54
入学定員	60(推薦入学若干名を含む)			60(推薦入学若干名を含む)	60(推薦入学若干名を含む)	60(推薦入学15名程度を含む)	60(推薦入学15名程度を含む)
A0入試	志願者						
	合格者						
	入学者						
	入学定員						
附属校推薦	志願者						
	合格者						
	入学者						
	入学定員						
指定校推薦	志願者	12	10	募集終了			
	合格者	11	10				
	入学者	11	10				
	入学定員						
公募推薦入試	志願者		31	36	32	26	
	合格者		8	15	16	16	
	入学者		8	15	15	16	
	入学定員						
一芸一能入試	志願者						
	合格者						
	入学者						
	入学定員						
その他	志願者	76	53	64	67	60	
	合格者	28	23	21	22	20	
	入学者	23	23	20	22	20	
	入学定員	20	20	20	20	20	
合計	志願者	641	694	655	440	560	
	合格者	119	121	116	118	119	
	入学者	87	93	90	92	90	
	入学定員	80	80	80	80	80	

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表 14)

学 部	学 科	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員 (A)	在籍学生 総 数 (B)	編入学 生数 (内数)	B/A	在 籍 学 生 数								備 考
								第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次		
								学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	
看護学部	看護学科	60	20	300	346	61	1.15	72	2	89	0	91	1	94	8	

3 学部の入学者の構成

(表 15)

学 部	学 科		入 学 者 数								備 考	
			一般入試	AO 入試	附属校 推薦	指定校 推薦	公募 推薦 入試	一芸 一能 入試	その他 (学士編 入学)	計		
看 護 学 部	看 護 学 科	入学定員	60							20	80	一般入試入学定員には、 推薦入学 15 名程度を含む
		入学者数	54				16			20	90	
		計に対す る割合	60.0%				17.8%			22.2%	100.0%	

4 学部の社会人学生・留学生・帰国生徒数

(表 16)

学 部	学 科	社会人学生数	留学生数	帰国生徒数
看護学部	看護学科	なし	なし	なし

5 学部・学科の退学者数

(表 17)

学部	学科	2003 年度					2004 年度					2005 年度				
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合計	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合計	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合計
看護学部	看護学科	2	5	7	2	16	1	3	3	0	7	0	2	2	1	5

6 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表 18)

研 究 科	専 攻	入学定員		収容定員		在籍学生数										C/A	D/B
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程					博士課程						
						一般	社会人	留学生	その他	計(C)	一般	社会人	留学生	その他	計(D)		
看護学研究科	看護学専攻	15	10	30	18	35	18	0	0	53	26	22	0	0	48	1.77	2.67
	ウィメンズヘルス・助産学専攻	15	/	30	/	28	1	0	0	29	-	-	-	-	-	0.97	/
合 計		30	10	60	18	63	19	0	0	82	26	22	0	0	48	1.37	

*博士課程は2006年度より定員を4名から10名に増員した。したがって現状の収容定員は、2004年度入学定員、2005年度入学定員の各4名を合わせて18名とした。

IV 教員組織

1 全学の教員組織

(表 19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等		専任教員数					設置基準上 必要専任 教員数	専任教員1人当たり の在籍学生数 (表14(B) /表19(A))	特任教員 (外数)	兼任教員数				兼任 教員数	備 考
		教授	助教授	講 師	計 (A)	助手				教授	助教授	講 師	計		
看護学部	看護学科	13	8	13	34	15	12	8.9		12	7	10	29	61	
看護学研究科	看護学専攻	2			2										
	ウィメンズヘルス・ 助産学専攻														
看護実践開発研究センター			1	2	3						1	1	2		
大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数							7								
合 計		15	9	15	39	15	19			12	8	11	31	61	

2 専任教員個別表

(表 20) 別掲

3 専任教員年齢構成

(表 21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
看護学部 看護学研究科	教授	1		2	1	6	3	2				15	
		6.7%	0.0%	13.3%	6.7%	40.0%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	助教授	0			1				8				9
		0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	専任講師							1	3	8	2	1	15
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	20.0%	53.3%	13.3%	6.7%	100.0%
	計	(1)		(2)	(2)	(6)	(4)	(13)	(8)	(2)	(1)		39
		2.6%	0.0%	5.1%	5.1%	15.4%	10.3%	33.3%	20.5%	5.1%	2.6%		100.0%
助手								1	5	6	3	15	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	33.3%	40.0%	20.0%	100.0%	
合計		1	0	2	2	6	4	14	13	8	4	54	
		1.9%	0.0%	3.7%	3.7%	11.1%	7.4%	25.9%	24.1%	14.8%	7.4%	100.0%	
定年	65才												

4 専任教員の担当授業時間

看護学部 (39人)

(表 22)

区 分	教 員	教 授	助 教 授	講 師	備 考
最 高		61.4	38.1	31.3	学部 1授業時間90分 大学院 1授業時間135分
最 低		1.5	1.4	2.0	
平 均		17.6	15.9	18.1	

責任授業時間数					定めなし
---------	--	--	--	--	------

5 専任教員の給与

(表 23)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)		
		教授	助教授	講師
看護学部 看護学研究科	最低	8,516,900	7,459,880	5,252,740
	平均	10,232,966	8,155,425	6,405,210

V 研究活動と研究環境

1 専任教員の教育・研究業績

(表 24) 省略

2 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）

(表 25)

		所属	職名	氏名	
展覧会・演奏会・競技会等の名称	場 所	開催日時	発表・展示等の内容等		
該当なし					

3 学術賞の受賞状況

(表 26)

学部・研究科等	学術賞の受賞数					
	2003 年度		2004 年度		2005 年度	
	国内	国外	国内	国外	国内	国外
看護学部	3		2	2	3	
計	3		2	2	3	

4 特許出願・登録状況

(表 27)

学部・研究科等	出願件数			登録件数		
	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度
看護学部		1				
計		1				

5 産学官連携による研究活動状況

(表 28)

学部・研究科等		2003 年度		2004 年度		2005 年度	
		共同研究の件数	受託研究の件数	共同研究の件数	受託研究の件数	共同研究の件数	受託研究の件数
看護学部 看護学研究科	新規				1		2
	継続						

6 専任教員の研究費

(表 29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等 の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
看護学部	16,215,608	16,215,608	54	300,289	300,289	

7 専任教員の研究旅費

(表 30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学 長期	学会等出張旅費		備 考
		長期	短期		国外	国内	
看護学部 ・ 看護学 研究科	総 額		815,810		254,925	3,404,560	
	支 給 件 数		4		1	68	
	1人当たり支給額		15,107		4,720	63,047	専任教員数 54人

[注] 1 研究旅費の支給条件

- (1) 国外留学
 支給資格 : 専任教員
 支給額の上限等 : 年間総額 300 万円、1 人あたり 50 万円
- (2) 国外学会留学
 支給資格 : 専任教員
 支給額の上限等 : 配分された各人の研究費の範囲内
- (3) 国外留学
 支給資格 : 専任教員
 支給額の上限等 : 年 1 回、それ以上は研究費の範囲内

8 学内共同研究費

該当なし

(表 31)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
看護学部	0		
看護学研究科	0		
計			

9 教員研究費内訳

(表 32)

学部・研究科等	研究費の内訳		2003 年度		2004 年度		2005 年度	
			研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)
看護学部		研究費総額	181,219,422	100.0%	227,806,721	100.0%	217,770,903	100.0%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	15,240,422	8.4%	19,263,721	8.5%	20,690,903	9.5%
		学内共同研究費						
		科学研究費補助金	61,040,000	33.7%	96,410,000	42.3%	85,970,000	39.5%
	学外	政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	101,973,000	56.3%	98,008,000	43.0%	111,110,000	51.0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	2,966,000	1.6%	14,125,000	6.2%	0	0%
		奨学寄附金						
		受託研究費						
		共同研究費						
		その他						

10 科学研究費の採択状況

(表 33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2003 年度			2004 年度			2005 年度		
	申請件数 (A)	採択件数 (B)	採択率(%) B/A*100	申請件数 (A)	採択件数 (B)	採択率(%) B/A*100	申請件数 (A)	採択件数 (B)	採択率(%) B/A*100
看護学部 看護学研究科	16	9	56	20	11	55	15	10	67

11 学外からの研究費の総額と一人当たりの額

(表 34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金			その他の学外研究費			合 計 (A+B)	専任教員1人 当たり合計額
		科学研究費補 助金総額(A)	うちオーバー ヘッドの額	専任教員1人 当たり科研費	その他の学外研 究費総額(B)	うちオーバー ヘッドの額	専任教員1人当 たり学外研究費		
看護学部 看護学研究科	54	85,970,000	6,270,000	1,592,037	111,110,000	8,510,000	2,057,292	197,080,000	3,649,630

12 教員研究室

(表 35)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡) (B)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (C)	個室率 (%) (A/C*100)	教員 1 人当 たりの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
看護学部	27	12	39	702.0	18.0	18.0	51	52.9	13.8	本館
〃	1	1	2	85.0	41.0	44.0	3	33.3	28.3	2号館
計	28	13	41	787.0			54	51.9	14.6	

VI 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表 36)

名称	校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
	校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積(m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
本館	4,639	3,000	8,404	4,462	31	1,690
2号館	435		3,106		10	669
鎌倉アリスの家	1,395		128		0	0
ふじみ野大井 グラウンド	11,506		29		0	0
計	17,975	3,000	11,667	4,462	41	2,359

2 学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表 37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積 (㎡)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	学生総数	在籍学生1人当 たり面積(㎡)	備考
看護学部	講義室	13	1,008	専用	560	346	2.9	
	演習室	17	306	専用	105	346	0.9	
	学生自習室	1	376	専用	200	346	1.1	2階学生ラウンジ
看護学研究科	講義室	2	218	専用	100	130		
	演習室	4	146	専用	60	130		
	学生自習室	4	305	専用	60	130		
	体育館							
	講堂	1	573	専用	400			

3 学部の学生用実験・実習室の面積・規模

(表 38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積(㎡)	使用学部等	備考
アーツルーム (看護実習室)	1	373	80	4.7	看護学部	
化学実験室	1	108	80	1.4	看護学部	
視聴覚教材室	1	35	-	-	看護学部	
計	3	516	-	-		

4 大学院研究科の学生用実験・実習室の面積・規模

(表 39)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積 (㎡)	使用研究科等	備 考
アーツルーム (看護実習室)	1	70	-	-	看護学研究科	(収容人員の定めなし)
研究実験室	2	70	-	-	看護学研究科	(")
計	3	140				

5 規模別講義室・演習室使用状況一覧表

2006 年度前期

(表 40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考
看護学部	1～20	18	150	48	32.0	
	21～40	2		30	20.0	
	41～80	2		24	16.0	
	81～100	2		48	32.0	
計		24		150	10.0	

2006 年度後期

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考
看護学部	1～20	18	100	28	28.0	
	21～40	2		24	24.0	
	41～80	2		16	16.0	
	81～100	2		32	32.0	
計		24		100	100.0	

VII 図書館および図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数

(表 41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料の 所蔵数(点数)	電子ジャーナル の種類 (種類)	備 考
	図書の冊数	開架図書の冊数 (内数)	内国書	外国書			
図書館	63,932	33,105	706 種類	165 種類	1,101 種類	782 種類	

2 過去3年間の図書の受け入れ状況

(表 42)

図書館の名称	2003 年度	2004 年度	2005 年度
図書館	1,552	1,496	1,382

3 学生閲覧室等

(表 43)

図書館の名称	学生閲覧室	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) $A/B \times 100$	その他の学習室 の座席数 ()	備 考
	座席数 (A)				
図書館	68	378	18.0	36	<収容定員> 看護学部 300 研究科 修士 60 博士 18

VIII 学生生活

1 奨学金給付・貸与状況

2006 年度実績

(表 44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額 (C)	1 件当たり支給額 C/A
日本学生支援機構	外	貸与	111	476	23.3	97,536,000	878,703
聖路加看護学園貸与奨学金	内	貸与	41	476	8.6	23,280,000	567,805
東京都看護師等修学資金	外	貸与	10	476	2.1	5,088,000	508,800
丸和育英会	外	給付	3	346	0.9	900,000	300,000
茂木本家教育基金	外	給付	4	346	1.2	1,440,000	360,000
朝鮮奨学会	外	給付	1	476	0.2	300,000	300,000
高島君子記念看護奨学基金	外	給付	2	346	0.6	720,000	360,000
御殿場市育英奨学生	外	貸与	1	346	0.3	360,000	360,000
岩国市奨学生	外	貸与	1	346	0.3	300,000	300,000
北九州市奨学生	外	貸与	1	476	0.2	636,000	636,000
青峰奨学財団	外	給付	1	476	0.2	600,000	600,000
岡村育英会	外	給付	8	346	2.3	1,920,000	240,000

2 生活相談室利用状況

(表 45)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2003 年度	2004 年度	2005 年度	
健康管理室	1	1	5	230	9: 30 ~ 17:30	384	285	287	専任保健師 1 非常勤医師 2

IX 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

(表 46-1)

	比 率	算 式 (*100)	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	% 65.4	% 65.9	% 59.9	% 44.3	% 63.4	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	96.7	96.6	88.5	86.0	91.7	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	25.2	25.2	26.7	23.6	29.8	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	3.3	3.8	4.6	4.3	5.0	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0	0.0	0.5	0.4	0.5	
6	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	94.2	96.1	92.3	74.4	99.0	
7	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	98.7	98.0	174.1	74.5	99.9	
8	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	67.7	68.2	67.7	51.6	69.1	
9	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	3.6	2.7	6.2	2.9	2.5	
10	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	22.5	21.3	20.6	16.1	19.5	
11	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 率}}{\text{帰 属 収 入}}$	4.5	1.9	47.0	0.2	0.9	
12	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	9.6	0.3	11.3	11.1	10.5	

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

（表 47）

	比 率	算 式（＊100）	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	% 91.4	% 91.2	% 91.4	% 90.2	% 90.4	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	8.6	8.8	8.6	9.8	9.6	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	4.6	4.8	16.0	14.0	13.3	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	4.3	4.3	3.9	4.6	4.8	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	91.1	90.9	80.0	81.4	81.9	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	5.2	5.6	△ 3.0	3.9	4.1	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	100.3	100.3	114.2	110.9	110.4	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資金}}{\text{自己資金+固定負債}}$	95.5	95.3	95.1	94.6	94.9	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	201.7	205.0	219.9	211.0	200.3	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	8.9	9.1	20.0	18.6	18.1	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	9.7	10.0	24.9	22.9	22.1	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	215.0	200.2	226.0	265.2	260.8	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	87.4	87.4	88.0	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	18.8	21.4	21.2	22.9	26.1	

[注] 1 「総資金」は負債＋基本金＋消費収支差額を、「自己資金」は基本金＋消費収支差額をあらわす。

X 情報公開・説明責任

1 財政公開状況について

(表 48)

		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌	大学機関紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	開示請求があれば 対応する
教職員	資金		○		○		○		
	消費		○		○		○		
	貸借		○		○		○		
在学生	資金		○		○		○		
	消費		○		○		○		
	貸借		○		○		○		
卒業生	資金		○		○		○		
	消費		○		○		○		
	貸借		○		○		○		
保護者	資金		○		○		○		
	消費		○		○		○		
	貸借		○		○		○		
社会・一般 (不特定多数)	資金				○		○		
	消費				○		○		
	貸借				○		○		
その他 (実習病院)	資金		○		○		○		
	消費		○		○		○		
	貸借		○		○		○		